

第 2 節 ベクトルと平面図形

5 位置ベクトル

A 位置ベクトル

平面上で、1 点 O を固定して考えると、任意の点 P の位置は、ベクトル

$$\vec{p} = \overrightarrow{OP} \dots\dots \textcircled{1}$$

によって定められる。

このとき、 \vec{p} を点 O に関する点 P の位置ベクトルという。

このとき点 P 、ベクトル \vec{p} は 1 対 1 に対応しているので、次のようにかく

$$P(\vec{p})$$

<例 33> 2 点 $A(\vec{a})$ 、 $B(\vec{b})$ のとき、 $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA} = \vec{b} - \vec{a}$

※終点の位置ベクトルから始点の位置ベクトルを引けばよい

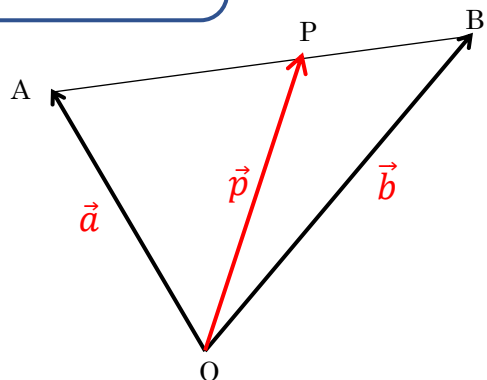
B 内分点・外分点の位置ベクトル

2 点 $A(\vec{a})$ 、 $B(\vec{b})$ のとき、線分 AB を $m : n$ の比に内分する点 P の位置ベクトル \vec{p} は

$$\vec{p} = \frac{m\vec{b} + n\vec{a}}{m+n}$$

(証明)

$$\begin{aligned} \vec{p} &= \vec{a} + \overrightarrow{AP} \\ &= \vec{a} + \frac{m}{m+n} \overrightarrow{AB} \\ &= \vec{a} + \frac{m}{m+n} (\vec{b} - \vec{a}) \\ &= \frac{(m+n)\vec{a} + m(\vec{b} - \vec{a})}{m+n} \\ &= \frac{m\vec{a} + n\vec{a} + m\vec{b} - m\vec{a}}{m+n} = \frac{m\vec{b} + n\vec{a}}{m+n} \end{aligned}$$



※ AB の中点 M の位置ベクトル \vec{m} は、 $\vec{m} = \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2}$

※ 線分 AB を、 $m : n$ の比に外分する点 Q の位置ベクトル \vec{q} は

$$\vec{q} = \frac{m\vec{b} - n\vec{a}}{m - n}$$

※ 内分公式において、+ を - に置き換えればよい。

<例 34> 2 点 A(\vec{a}), B(\vec{b}) のとき、線分 AB を次の比に分ける点の位置ベクトルを求めよ。

(1) 2:1 の比に内分する点 C

AB を 2:1 に内分するので、 $\vec{p} = \frac{2\vec{b} + \vec{a}}{2 + 1} = \frac{\vec{a} + 2\vec{b}}{3}$

(2) 1:3 の比に内分する点 D

AB を 1:3 に内分するので、 $\vec{p} = \frac{\vec{b} + 3\vec{a}}{1 + 3} = \frac{3\vec{a} + \vec{b}}{4}$

(3) 2:3 の比に外分する点 E

AB を 2:3 に外分するので、 $\vec{p} = \frac{2\vec{b} - 3\vec{a}}{2 - 3} = \frac{2\vec{b} - 3\vec{a}}{-1} = 3\vec{a} - 2\vec{b}$

(4) 3:1 の比に外分する点 F

AB を 3:1 に外分するので、 $\vec{p} = \frac{3\vec{b} - \vec{a}}{3 - 1} = \frac{3\vec{b} - \vec{a}}{2}$

<例 35> 2 点 A(\vec{a}), B(\vec{b}) のとき、線分 AB を $t : (1 - t)$ の比に内分する点 P の位置ベクトル \vec{p} を求めよ。

$$\vec{p} = \frac{t\vec{b} + (1 - t)\vec{a}}{t + (1 - t)} = (1 - t)\vec{a} + t\vec{b}$$